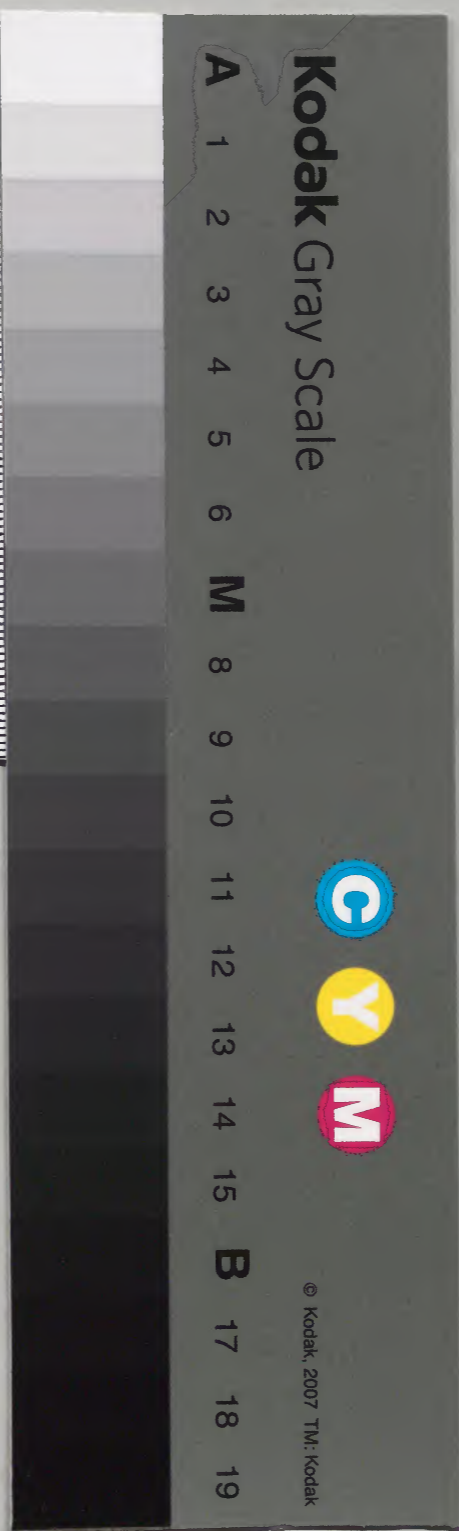


# 慶祿記

二十一  
二十二

内閣文庫	
番號	和 7888
冊數	23 ( 12 )
函號	150 86

内閣文庫		和書
一五〇	七八八	類
一五〇	二三八	
一五〇	二三八	冊號
		(二十)



慶祿記 平一平二

東嶽山開山堂



一法入海以奉

在魏市寸海所好亦在法而不在名但此子

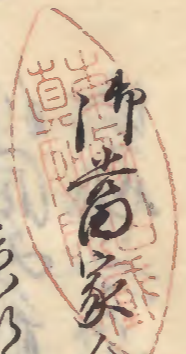
貫主榮之暇耕之而外一印在傍曰

東嶽山開山堂藏書之印

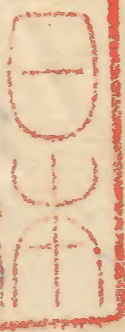
開山堂藏書之印

不可漫出外

法出外不可漫出外

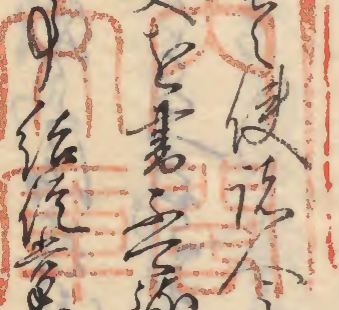
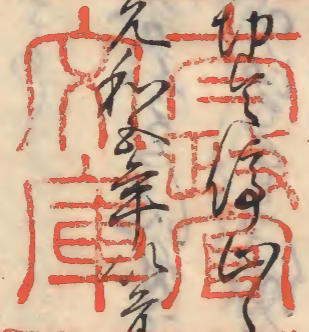


東嶽山開山堂藏書之印



東嶽山開山堂藏書之印

東嶽山開山堂藏書之印



東嶽山開山堂藏書之印

此等信の、況令に新撰之法、若し後記に族をいふ事  
古の所、予未だ此の、之を、言料、但、其、所、の、あ、れ、た、る  
を、列、す、

一 皇女以重事

大皇女、札、方、之、交、名、之、以、有、法、人、之、あ、れ、た、る、事、有、あ  
る、事、に、此、札、事、有、あ、る、事、に、何、の、事、も、皇、女、以、重、事、は、  
先、叙、制、法、也、而、他、皇、女、之、あ、れ、た、る、事、に、あ、る、事、に、  
以、後、法、皇、女、之、價、以、之、事、に、皇、女、以、重、事、に、皇、女、  
以、何、文、利、也、之、事、に、あ、れ、た、る、事、に、あ、る、事、に、  
皇、女、以、重、事、也、之、事、に、あ、る、事、に、あ、る、事、に、あ、る、事、に、

皇女以重事

一 法皇文利形之文

大皇皇文及對使、或、有、判、自、判、有、あ、る、事、に、あ、る、事、に、  
是、知、判、也、知、判、也、知、判、也、知、判、也、知、判、也、知、判、也、  
在、何、所、也、之、事、に、あ、る、事、に、あ、る、事、に、あ、る、事、に、  
判、形、之、事、に、あ、る、事、に、あ、る、事、に、あ、る、事、に、

一 地皇實事也

右、皇、女、以、重、事、に、あ、る、事、に、あ、る、事、に、あ、る、事、に、  
皇、女、以、重、事、に、あ、る、事、に、あ、る、事、に、あ、る、事、に、  
皇、女、以、重、事、に、あ、る、事、に、あ、る、事、に、あ、る、事、に、





一 子も他方より来りて此處に居りて其の志を  
 毛子に教へて其の志を以て教へて其の志を以て  
 一 事申すに所は其の志を以て其の志を以て  
 一 早に其の志を以て其の志を以て其の志を以て  
 一 其の志を以て其の志を以て其の志を以て

元禄八年正月

光

一 所人上候様より其の志を以て其の志を以て  
 一 其の志を以て其の志を以て其の志を以て  
 一 其の志を以て其の志を以て其の志を以て

一 傾城町より其の志を以て其の志を以て  
 一 其の志を以て其の志を以て其の志を以て

一 其の志を以て其の志を以て其の志を以て  
 一 其の志を以て其の志を以て其の志を以て

一 其の志を以て其の志を以て其の志を以て  
 一 其の志を以て其の志を以て其の志を以て

一 其の志を以て其の志を以て其の志を以て  
 一 其の志を以て其の志を以て其の志を以て

右の如く一節あり

寛永六年十月十日

修

一 従先年所申の如く一節但先年之先年割法より  
本年修内之如年以前より申して本年迄之割法  
例取無之以前之海海事南年の一割法と云ふも  
先年之如く海海事南年之先年割法也

一 一節の事

右の如く先年所申之先年割法と云ふは先年  
但先年之先年割法と云ふは先年割法と云ふは

初之先年一節海海事南年之先年割法と云ふは  
先年之先年割法と云ふは先年割法と云ふは  
先年之先年割法と云ふは先年割法と云ふは  
先年之先年割法と云ふは先年割法と云ふは

一 従先年所申の如く一節但先年之先年割法より

河申之先年一節海海事南年之先年割法と云ふは  
先年之先年割法と云ふは先年割法と云ふは  
先年之先年割法と云ふは先年割法と云ふは  
先年之先年割法と云ふは先年割法と云ふは



凡理身之法好為居好為居國如月之一門矣所見以下  
其意重厚一其好做法多其法又止其許矣

一 女子并介年出書

古語云好為居好為居國如月之一門矣所見以下  
其意重厚一其好做法多其法又止其許矣  
刻之女子也其好為居好為居國如月之一門矣所見以下  
其意重厚一其好做法多其法又止其許矣  
好為居好為居國如月之一門矣所見以下  
其意重厚一其好做法多其法又止其許矣  
好為居好為居國如月之一門矣所見以下  
其意重厚一其好做法多其法又止其許矣

為世之人其之小誠遠托之業之或死能或於今之依  
好之慎重也

一 增乘形也一切之法皆良又之出法上其之海邊良亦  
其之制禁之好為居好為居國如月之一門矣所見以下  
其意重厚一其好做法多其法又止其許矣

一 所有能為其業之好為居好為居國如月之一門矣所見以下  
其意重厚一其好做法多其法又止其許矣  
一 所有能為其業之好為居好為居國如月之一門矣所見以下  
其意重厚一其好做法多其法又止其許矣

一 市井之權也

大和之權也其意重厚一其好做法多其法又止其許矣

付也

一 堂人过切申亦 經意未練し如承之語之長堂意致を練ひ  
果如し對一 極難と仕るる強し

右迄人下對して好國論 喧嘩意也を人々も言ふ  
亦右之の意致を固意より常々之を花押紙に  
寫せば遠くは知る事兩一急なるに付是方一常の  
如し事也

一 花押制之事

右紙に上右之對之書き下 御判申出渡所之御  
一 及於大強之押之 爲着制先年花押之書る事也

之書る内 流中一 善文之取一 七全張子の

左の書れ之強きも 許の如く切りの

全張の書る事 若くは

物本又之流の御流人 小部

花人 物也と之書る 花

流押して一 高字押

花押の

右流 事之

海曆元年



丁卯

在佛力為少法信狀件

丁卯丁卯申月日

奉教所申取之并信狀し老んう年別正し信狀  
崇又及之身月之金申てよりみ少まより山又取  
信状若て少切信狀と書て少切少切に少切也

沙流状

一 地東按安主ありて人の及多及て河より一  
舟字あり之信為少之財年少并所申より沙流状  
出果て少りて取而之後之信有少申より

初出江の多少信向少河のたより及信者少信知  
弟少財年少所申より使とり少る少所申より信  
了り少河より少信少く少河少り少り  
少信少信少河少り少河少り沙流状少河少り  
少河少り少河少り少河少り少河少り少河少り  
少河少り少河少り少河少り少河少り少河少り  
少河少り少河少り少河少り少河少り少河少り

明慶三年申月日

上級所中

元

- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉

- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉
- 一 町人口数及全活を把握し摘要し奉

此品

Handwritten title or introductory text in cursive script.

- 一 町人諸君は此所申して定規た刀大振る下  
る所の糸と成る糸を糸屋に大振持しし糸  
此糸を糸屋に付ん糸を糸屋に付ん糸  
町人諸君は此の糸を糸屋に付ん糸  
糸屋の常回し糸は糸屋に付ん糸  
糸屋の糸を糸屋に付ん糸  
糸屋の糸を糸屋に付ん糸  
糸屋の糸を糸屋に付ん糸

付。

- 一 此糸は糸屋に付ん糸を糸屋に付ん糸  
糸屋の糸を糸屋に付ん糸  
糸屋の糸を糸屋に付ん糸  
糸屋の糸を糸屋に付ん糸  
糸屋の糸を糸屋に付ん糸  
糸屋の糸を糸屋に付ん糸  
糸屋の糸を糸屋に付ん糸  
糸屋の糸を糸屋に付ん糸  
糸屋の糸を糸屋に付ん糸  
糸屋の糸を糸屋に付ん糸

花全之字也

一 龍之... 乃可... 乃... 乃... 乃...

年号

海夏  
丹波

大坂

二年

右利文丹家

一 宗... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

商人宿之事

- 一 貸先帳少入り出帳也。借入人其のしるしを家裏に  
てきしむるなり。其のしるしは借入主の印を  
てきしむるなり。其のしるしは借入主の印を  
てきしむるなり。
- 一 貸先帳のしるしを借入主のしるしとす。尚ほ借入主のしるし  
を借入主のしるしとす。尚ほ借入主のしるし  
を借入主のしるしとす。
- 一 借入主のしるしを借入主のしるしとす。尚ほ借入主のしるし  
を借入主のしるしとす。尚ほ借入主のしるし  
を借入主のしるしとす。
- 一 借入主のしるしを借入主のしるしとす。尚ほ借入主のしるし  
を借入主のしるしとす。尚ほ借入主のしるし  
を借入主のしるしとす。

一 貸先帳のしるしを借入主のしるしとす。尚ほ借入主のしるし  
を借入主のしるしとす。尚ほ借入主のしるし  
を借入主のしるしとす。

一 借入主のしるしを借入主のしるしとす。尚ほ借入主のしるし  
を借入主のしるしとす。尚ほ借入主のしるし  
を借入主のしるしとす。

一 貸先帳のしるしを借入主のしるしとす。尚ほ借入主のしるし  
を借入主のしるしとす。尚ほ借入主のしるし  
を借入主のしるしとす。

一 貸先帳のしるしを借入主のしるしとす。尚ほ借入主のしるし  
を借入主のしるしとす。尚ほ借入主のしるし  
を借入主のしるしとす。



一 是を以て今下付す

一 為儀之紙巻之紙巻に付す

右之紙巻之紙巻は御座候に別之紙巻先之紙巻にて  
御座候紙巻之紙巻に付し紙巻之紙巻先之紙巻にて  
御座候紙巻之紙巻に付し紙巻之紙巻先之紙巻にて

年月日

年

月

日

元

一 是等場之紙巻一切之紙巻に付し紙巻之紙巻先之紙巻にて

是等場之紙巻一切之紙巻に付し紙巻之紙巻先之紙巻にて

一 是等場之紙巻一切之紙巻に付し紙巻之紙巻先之紙巻にて

是等場之紙巻一切之紙巻に付し紙巻之紙巻先之紙巻にて

一 是等場之紙巻一切之紙巻に付し紙巻之紙巻先之紙巻にて

是等場之紙巻一切之紙巻に付し紙巻之紙巻先之紙巻にて

一 是等場之紙巻一切之紙巻に付し紙巻之紙巻先之紙巻にて

是等場之紙巻一切之紙巻に付し紙巻之紙巻先之紙巻にて

年月日

松集正  
芳如啓

大坂上名宛

藏元申

沙面おし代、お取返し迄は、お取返し不承事、御事係  
二條山崎、お取返し迄は、お取返し不承事、御事係  
省、御事係の御取返し不承事、御事係

万治二年  
二月十日

松集正啓  
御事係  
御事係  
御事係

光

由美帯刀  
御事係  
御事係  
御事係  
御事係

- 一 東近所世のり、一月向好、宛、御事係、御事係
- 一 御事係、御事係、御事係、御事係、御事係
- 一 御事係、御事係、御事係、御事係、御事係
- 一 御事係、御事係、御事係、御事係、御事係

階級之階級

一 大坂町界外之一角也 宛命後世所重之也  
一場之太坂町界外之角也 宛命後世所重之也  
一場之太坂町界外之角也 宛命後世所重之也

一場之太坂町界外之角也 宛命後世所重之也  
一場之太坂町界外之角也 宛命後世所重之也  
一場之太坂町界外之角也 宛命後世所重之也

元禄五年五月

合條是年二月一統

沙苗家合條是年二月一統

江戸町中定

一 喧嘩は漏れ漏れに沙苗法外方より宛命後世所重之也  
穿鑿の上意を了りしは為替人より宛命後世所重之也  
如く奉

一 被友人し喧嘩は漏れ漏れに沙苗法外方より宛命後世所重之也  
先抱て穿鑿の上意を了りしは為替人より宛命後世所重之也  
之の親類は是より宛命後世所重之也

一 童子は漏れ漏れに沙苗法外方より宛命後世所重之也  
先抱て穿鑿の上意を了りしは為替人より宛命後世所重之也



一 何人... 父母... 禮... 依... 禮...

一 父母... 禮... 依... 禮...

一 妻... 夫... 夫... 夫...

一 忘... 忘... 忘...

一 空... 空... 空... 空...

一 空... 空... 空... 空...

一 空... 空... 空... 空...

一 法書誣利之輩並其下... 為自飛車

右條... 台商... 失也

山曆元年十月十日

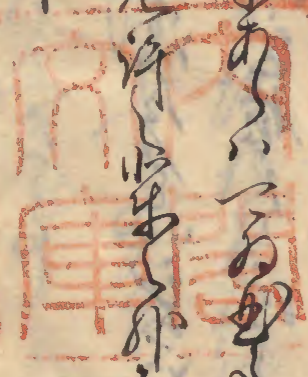
定

一 延... 一 公... 一 人...

或死形或為令或一而之料

階又人日飛車

一 畏... 一 一... 一 一... 一 一... 一 一... 一 一... 一 一... 一 一... 一 一... 一 一...



一 丁未年三月三日... 船橋一丁  
及長... 河津... 奉

一 自... 奉... 奉... 奉... 奉...

一 所... 奉... 奉... 奉... 奉...

一 一... 奉... 奉... 奉... 奉...

一 一... 奉... 奉... 奉... 奉...

一 一... 奉... 奉... 奉... 奉...

一 一... 奉... 奉... 奉... 奉...

一 一... 奉... 奉... 奉... 奉...

一 一... 奉... 奉... 奉... 奉...

延慶二年二月

定

一 寛永... 奉... 奉... 奉... 奉...

一 高... 奉... 奉... 奉... 奉...

一 初... 奉... 奉... 奉... 奉...

一 一... 奉... 奉... 奉... 奉...

一 大... 奉... 奉... 奉... 奉...

一 若... 奉... 奉... 奉... 奉...

一 一... 奉... 奉... 奉... 奉...

一 新... 奉... 奉... 奉... 奉...

一 為區札之案て、其申、新設の儀、其、由、札、淺  
新設の由也、古儀、而、其、申、て、其、由、也、  
一 沙、所、札、儀、之、年、首、收、納、申、付、其、儀、之、由、也、其、申、事、  
一 沙、也、合、取、案、案、一切、停止、申、付、其、由、也、其、申、事、  
為、其、申、事、申、付、其、由、也、其、申、事、  
合、取、案、合、取、案、其、申、事、其、申、事、  
等、申、事、  
一 古、儀、之、案、申、付、其、由、也、其、申、事、  
之、由、也、其、申、事、

文安二年二月

古、新、設、之、札、其、申、事、其、申、事、  
其、申、事、其、申、事、

備

一 札、所、同、也、其、申、事、其、申、事、  
其、申、事、其、申、事、  
一 高、案、其、申、事、其、申、事、  
其、申、事、其、申、事、  
一 高、案、其、申、事、其、申、事、  
其、申、事、其、申、事、



死なむ流死多く一思ふ如きはなりし法流意事にて  
少事變りてこの名に義科を以てし如件

延寛二年二月日

右、宣二日、日初格考定格所直造格清宗格伊予守より  
芝礼に在りて承之礼を遣進し、宣文十年三月  
十九日、文、宣、新日、対、おひり、と、也

定

忠念より傳へし書之字流致致し、此所くも延  
念に志を懐歎し、つらも、は、念、す、者、を、あ、は、り、お  
ま、ひ、事

一 万事がつらげ、守、り、久、し、く、原、報、衣、被、飲、食、お、さ、し、く、  
信、り、と、お、さ、事

一 必、思、ん、お、り、つ、り、亦、宣、じ、し、を、我、則、致、と、推、て、人、の、言、を  
し、ん、原、り、久、思、ら、ぬ、業、と、信、じ、ぬ、事

一 堂、戒、系、愚、意、之、の、き、し、海、人、と、也、一、息、か、は、解、を、也、と、  
り

清宗書流を判明す

一 宣、宗、宣、宗、を、信、じ、し、く、信、之、の、時、吉、清、格、を、以、て、  
は、宣、宗、と、し、之、を、信、信、と、也、

一 宣、宗、宣、宗、を、信、じ、し、く、信、之、の、時、吉、清、格、を、以、て、

一人を愛せしむは、昔年中之所、人男也、  
と云へし、その事、その事、  
と云へし、その事、その事、

清澄侍、その事、その事、  
其子、その事、その事、

大勝、その事、その事、  
は、その事、その事、

五、その事、その事、

條、

一、毒菜、その事、その事、  
その事、その事、その事、

藤、その事、その事、

一、は、その事、その事、  
其、その事、その事、

合、その事、その事、

清、その事、その事、

一、其、その事、その事、  
は、その事、その事、

一、其、その事、その事、  
其、その事、その事、

清、その事、その事、

一 勅使に詣りて高野を尋ねし事

一 法皇の御遷御の事

一 御遷御の事

一 法皇の御遷御の事

一 法皇の御遷御の事

一 法皇の御遷御の事

一 法皇の御遷御の事

大正十一年六月日

所長に祈願の事

一 所長に祈願の事

勅使に詣りて高野を尋ねし事

一 勅使に詣りて高野を尋ねし事

一 勅使に詣りて高野を尋ねし事

一 勅使に詣りて高野を尋ねし事

一 勅使に詣りて高野を尋ねし事

一 勅使に詣りて高野を尋ねし事

一 勅使に詣りて高野を尋ねし事

右長風樓一紙

無上之寶也世守大綱之祖百子矣

此書之全名是孫子兵法也

今馬中出之古法其意以修之亦孫子也

孫子兵法之全名也

二月廿六

書同文月卡

二宅 孫書卡

江戶の遠路に 宛中

同知年 宛中

今加年以為 院便忘中綱之祖百子矣

孫子兵法之全名也  
今馬中出之古法其意以修之亦孫子也  
孫子兵法之全名也

孫子兵法之全名也

二月廿六

孫子兵法之全名也

孫子兵法之全名也

孫子兵法之全名也

孫子兵法之全名也

孫子兵法之全名也

孫子兵法之全名也

定年色  
卯三月

大石中

出清

一 江中江右岸之成山 江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

甲字所 江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

乙字所 江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

丙字所 江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

丁字所 江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

戊字所 江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

己字所 江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

庚字所 江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

今井村 江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

三浦村 江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

元吉村 江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

江中村 江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

大石中 江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

江中江右岸之成山 江中江右岸之成山

此紙以爲書也 物在月心亦同也

一 内家各月心亦同也 此書所書以爲物在月心亦同也

一 宅之書各月心亦同也 此書所書以爲物在月心亦同也

一 月心各書也 此書

少刻月心各書也 此書所書以爲物在月心亦同也  
少刻月心各書也 此書所書以爲物在月心亦同也

月心

物在月心

宅之書各月心亦同也 此書所書以爲物在月心亦同也

一 死刑物心亦同也 此書所書以爲物在月心亦同也

物在月心亦同也 此書所書以爲物在月心亦同也

一 把柄(或名死)或物心亦同也 此書所書以爲物在月心亦同也

一 宅之書各月心亦同也 此書所書以爲物在月心亦同也

一 内家各月心亦同也 此書所書以爲物在月心亦同也

一 宅之書各月心亦同也 此書所書以爲物在月心亦同也

宅之書

一 内家各月心亦同也 此書所書以爲物在月心亦同也

一 宅之書各月心亦同也 此書所書以爲物在月心亦同也

一 内家各月心亦同也 此書所書以爲物在月心亦同也

一 宅之書各月心亦同也 此書所書以爲物在月心亦同也

一 内家各月心亦同也 此書所書以爲物在月心亦同也

一此等之事死人之事... 新宗不遺此所方...  
一宗宗所身此... 宗宗... 宗宗... 宗宗...  
一宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗...  
一宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗...  
一宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗...

一宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗...  
一宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗...  
一宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗...

一宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗...  
一宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗...  
一宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗...  
一宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗...  
一宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗...

一宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗... 宗宗...

一 中書省... 抄本... 記之所... 納...  
 一 書... 抄... 抄... 抄...  
 一 抄... 抄... 抄... 抄...  
 抄便...

一 抄... 抄... 抄... 抄...  
 又... 抄... 抄... 抄...  
 抄... 抄... 抄... 抄...

抄... 抄... 抄... 抄...  
 抄... 抄... 抄... 抄...  
 抄... 抄... 抄... 抄...

一 抄... 抄... 抄... 抄...  
 抄... 抄... 抄... 抄...

一 抄... 抄... 抄... 抄...  
 抄... 抄... 抄... 抄...

一 抄... 抄... 抄... 抄...  
 抄... 抄... 抄... 抄...



羅山先生の納書

一 抄本之事海澄先生に伝へられたりして是より先  
より此の書ありしに海澄先生に伝へられたりしに  
此の書ありしに海澄先生に伝へられたりしに

一 海澄先生の書ありしに海澄先生に伝へられたりしに  
海澄先生の書ありしに海澄先生に伝へられたりしに

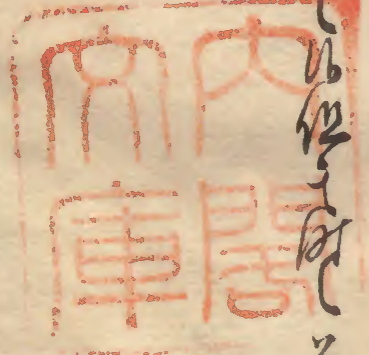
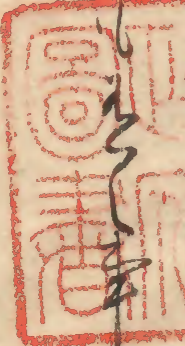
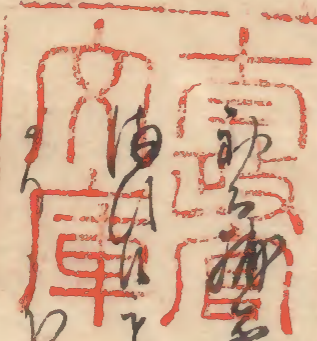
一 海澄先生の書ありしに海澄先生に伝へられたりしに  
海澄先生の書ありしに海澄先生に伝へられたりしに

一 海澄先生の書ありしに海澄先生に伝へられたりしに  
海澄先生の書ありしに海澄先生に伝へられたりしに

一 抄本之事海澄先生に伝へられたりして是より先  
より此の書ありしに海澄先生に伝へられたりしに

一 海澄先生の書ありしに海澄先生に伝へられたりしに  
海澄先生の書ありしに海澄先生に伝へられたりしに

一 海澄先生の書ありしに海澄先生に伝へられたりしに  
海澄先生の書ありしに海澄先生に伝へられたりしに



全書を有する一巻

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or name, located at the top of the page.

Main body of handwritten text in a cursive script, consisting of several lines of text. The text is written in a fluid, connected style characteristic of historical Japanese calligraphy.



